

そよかぜ 3月園便り

令和3年3月1日（月）

西東京市立そよかぜ保育園

河津桜があつという間に満開になり、空気の冷たい日はまだあるものの日差しは確実に暖かくなっています。散歩に行くとオオイヌノフグリ、ホトケノザ、オドリコソウ...と春の草花も見かけるようになり、土の中からはダンゴムシやミミズも出でています。

子どもたちとそんな春のあれこれを探しに出かけませんか。

いよいよ3月。子どもたちはもうすぐ一つずつ上のクラスに進級します。

そして年長さんは小学生に。新たな社会に向かって大きな一歩を踏み出していくます。どのクラスもこの一年で本当に成長しました。

乳児クラスの子どもたちもそれぞれに大きくなって、おしゃべりも楽しい今日この頃。



【0歳クラス】

大人がやるマッサージを真似て、お人形をマッサージするAちゃん。お人形の肩のあたりを触りながら「硬いねー」と呟いています。声かけも大人と同じ！？

この時期はお父さん・お母さんをはじめ、身近にいる人の言うことややることを何でも真似するのが楽しい！！興味の世界も広がり、言葉の発達や色々な動作を覚えていく過程で、この「真似っこ（模倣）」は欠かせません。だからこそ、私たちの行動や言動は大事ですね。私も襟を正していきたいと思います！

【1歳クラス】

お友だちと隣同士で着替えていたUくん。間違えて隣のYくんのズボンを穿いてしまい...

大人：「Uくん、それYくんのズボンだったね」

Uくん：「ズボンが間違えたんだよ」

なるほど！ズボンの方が間違えてUくんの所にやって来たってことだね。

少しずつプライドも芽生えてくるお年頃。（実年齢で2歳後半になっている子もいるので）

「しまった、僕としたことが...でも間違えたとは言いたくない！」という気持ちを咄嗟にそんな言葉に転換して言えるってすごいですね！

【2歳クラス】

散歩先で遠くの空を見ながら「あっちは白い雲がある」とMちゃん。今度は自分がいる場所の真上を見上げて「こっちは青ばっかりしかないね」。確かにこっちは雲一つない青空！

自然事象に興味を持って、その変化や推移などに気づける感受性がしっかりと育ってくる時期です。私たち大人も同じ視点を持ち、子どものこんな言葉を一つ一つ受け止めて共感していくのです。

子どもたちのこんなやりとりにほっこりしたり、感心したり...そしてまた新年度もどんな姿を見てくれるのか、とても楽しみです。

これからも子どもを真ん中にして、保護者の皆さんと保育園とでその先にある喜びに向かって歩いて行けたらいいなと思っています。

春の訪れと共に、それぞれの子どもたちの次へのステップと一緒に見守っていきましょう。

クラス通信



ひよこ

散歩先にも、きれいな草花が咲いていて、子どもたちと一緒に“はる”を探しに出かけています。散歩先につくと、靴を履いて、いざ出発！！とばかりにそれぞれ気になるところへ探検！！大人も一緒に探検しているのですが、ふと気づくと、2～3人で集まっていることも見られるようになりました。その場に集まって、自分の気になることをしている中で、ふとした時に目が合い笑いあったり、同じようなことを真似っこしてみたり、楽しいことを共有しているようです。

自分のロッカーが分かるようになって着替えを引き出したり、脱いだものをしまったり、、、絵本を読んでいるといろいろな声をあげ、読み終わると指を立ててもう一冊とリクエスト！

入園当初、小さかった子どもたちが、一つずつ出来ることが増えてきて、こんなことも出来るようになったね！と子どもたちの成長に喜びを感じています。

暖かい日が増え、散歩先では梅の花が咲いていたりと、春を感じることが増えてきました。

ひな人形製作では自分たちで紙粘土をにぎにぎ、こねこね…一人一人それぞれの形のお雛様とお内裏様が出来ました！「作ったね～」と嬉しそうに言っていますよ。

先日、リグノ積み木を並べて電車を作りはじめると、1人…2人…と増えていき、数人でとても長い電車を作っていました。一緒に遊んでいる姿はとても楽しそうでしたよ。お友達との関わりも楽しくなってきています。



あひる

先月は天気のいい日が続き、たくさん散歩に出かけて遊びました。

日陰になっている所で、ふと下を見てみるとキラリと光る霜柱を発見。「ここにもある」「あっちにもある」と、みんなでしゃがんで霜柱を探し、大きな物が見つかると「おっきいのあったよ！」と嬉しそうに話していた子ども達です。また霜柱の上を歩きながらザクザクと音を立てて楽しんでいる子もいましたよ。

そんな“霜柱”ともまたしばらくお別れですね。でも春は春で楽しいことが待っているのでワクワクしますね！



すずめ

先日、いこいの森で黒い盛り土を発見。姿を想像しながら読んでください！

「なんだなんだ？」「あっちにもこっちにもあるよ！」（盛り土を囲みしゃがむ）「これ、モグラの穴だよ」「えー！」「そうだよ」「もぐらさーん！」「どこー？」「おはよう」「返事しないねー」「寝てるんじゃない？」「散歩だよ」（口々に喋りながら、棒切れで盛り土を次々と掘り起こし）「おーい！」「おーい！」「いないじやん」と盛り土一つで大盛り上がりでした。

また子どもたち発信で、「氷鬼しよう」と一人が帽子を裏返し「鬼だよ」と追いかけ始めると、次々と帽子を裏返して追いかけ始めます。全体での遊びに発展することもあり、群れて遊ぶのが楽しくなってきています！

今月もたくさんの遊びや不思議な体験を見つけていきます。



ひばり



暖かな陽の光とともに、小さな虫や草花を見かける季節となりました。散歩へ出掛けると、「お花きれい～」と梅や桜を見つけて、甘い香りにうつとり。公園では、マラソンや鬼ごっこをすると「暑い」と半袖になって、仲間と協力して走り回っています。

もうすぐひな祭りですね。「お家にお雛様飾ったよ！」と嬉しそうに報告してくれます。クラスでも素敵なお雛様とお内裏様を折り紙で作成しました。園内に飾ってあるので、是非ご覧下さい♪

毎日元気いっぱいのはやぶさ組。最近は缶蹴りや海賊ごっこ等、複雑なルールの遊びでもお友達と団結して楽しく遊ぶ姿が見られるようになりました。

コマ回しもまだまだ熱が冷めやらず！！百発百中を目指したり、“コマ回し大会優勝”を目指したり、**小さい範囲**（椅子の上など）に狙って回せるようになどなど、特訓中！

また年長ならではの製作も多く、みんながこだわって時間をかけて完成したお面、小さい折り紙で作った“つるし雛”、手だけでなく足でも回しているビュンビュン独楽作り、等々、盛り沢山！！

そよかぜ保育園で過ごすのもあと一か月となりました。来月からは憧れていた小学生。みんなで思う存分たくさん遊び、笑顔いっぱい過ごしていきます！



各クラス

ひな飾り製作をしました！

写真は2才クラスの様子で、紙皿を使った雛飾りができました。



3月 園行事

2日（火）あられ炒り 3日（水）ひな祭り

10日（水）布団乾燥 11日（木）卒園式リハーサル

13日（土）卒園式 18日（木）誕生会 26日（金）避難訓練

4月 お知らせ

▼入園式、進級式：4月1日（木）に子どもたちのみで行います。

▼新クラス懇談会（16:30～17:15）

5才クラス 4月8日（木）	4才クラス 4月13日（火）	3才クラス 4月15日（木）
2才クラス 4月20日（火）	1才クラス 4月22日（木）	0才クラス 4月27日（火）

玄関ホールに勢揃いしたお雛様 各クラス 子どもたちが工夫を凝らし、すまし顔のお雛様たちが並んでいます。穢れや災いを人形に移して、川に流したのが起源とされるひな人形。子どもたちの健やかな成長を願って 大きくなれ

園庭の隅にあるフキノトウ 調理さんが蕗味噌にし、春の香りを堪能しました。

新型コロナウイルス感染症に悩まされ、行動が制限された一年。

マスクをし、毎日検温。手洗い・消毒。健康に生きることについて、これ程までに考えたことがあつただろうかと振り返りながら、体調を崩すこともなく元気に走り回る子どもたちの姿にホットしているところですが、油断はできないですね。

お茶を飲もう

静岡のとある保育園では毎日緑茶を飲んで、風邪引きさんがいないというニュースを耳にしたことがあります。緑茶に含まれるカテキンによる効果とのことでした。手軽なペットボトルではなく、茶葉にお湯を注ぎ、抽出した物が良いことは言うまでもないのですが、参考にしたいですね。

お日様にあたろう

「コロナ重症者は明らかに血中ビタミンD濃度が低い！」と 海外から研究報告が相次いで出されているそうです。紫外線によって皮膚で作られるビタミンDは、私たちの免疫力を維持させるために欠かせない最高の栄養素です。ビタミンDは鼻や喉等上気道の炎症予防に有益とWHOでも推奨していると言われますから、耳寄り情報と言えるのではないでしょうか。

ビタミンDは、ニシン、イワシ、サンマ、カレイなど魚や干しシイタケ、乾燥キクラゲ等に多く含まれています。またビタミンDはカルシウムの吸収を助けますから一層お勧めです。

紫外線は肌のシミや皮膚がんの原因になると敬遠されがちですが、近年の研究で骨の健康以外にがんやアレルギーの免疫疾患、インフルエンザ、うつ病などの予防効果がわかってきました。日光浴や食事でビタミンDを出来るだけ摂取し、健康でありたいですね。

職員のつぶやき

「趣味のはなし」

私の趣味は旅行をすることです。

一番印象に残っている旅は、大学生の時。何度か行ったことのある国だったのですが、今回はゆっくりしようと決め、一週間ちょっとの旅を計画しました。

いつもと違うことがしたかった私は、空港につくなり都市部とは逆方向へ一時間弱バスに乗りました。見える景色がどんどん田舎になって、ソワソワしたのを鮮明に覚えています。

到着すると、想像した場所とは違い、賑やかで綺麗な海が広がっていました。でも聴こえてくるのは異国の言葉だけ。日本人は一人もいませんでした。

少しの不安を抱きながら、名物の海鮮店で、現地の人の話を聞きながらごはんを食べ、海に入って過ごした一日。多くの発見をし、たくさんの人の優しさに触れることが出来ました。

私が旅行好きな理由は、単純に「楽しいから」だけではなく、自分で実際に経験する中で、その場所の本質が見えてくるのが面白いからです。テレビやインターネット上で溢れている情報とは違った、もっと大切なものを発見できるから、また行きたくなるのです。